

内 容		訓 練 中 心 学 年					
		1	2	3	4	5	6
基 本 学 習	1 問題をつかんで解決のための準備をする。 2 学習方法や手順に従って学習する。 3 学習内容が身につくまで繰り返し学習する。 4 解決事項と問題点を明らかにする。 5 結果をノートに整理してまとめる。	○					
集	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話し方の基礎</div> 1 姿勢や向きに注意し、聞き手の方を見て話す。 2 みんなに聞える声で、ゆっくりと語尾をはっきりわかりやすく話す。 3 ていねいなことばづかいで話す。 4 理由、原因、条件と結論をおさえ、順序よく話す。 5 要点をおとさないように考えながら話す。	○	○				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">聞き方の基礎</div> 1 姿勢や向きに注意し、話し手の方をみながら聞く。 2 自分の考えや意見と違って、相手を尊重しながら聞く。 3 事実と意見を区別しながら聞く。 4 要点や不明な点、問題点をメモにとる。	○	○	○	○		
学	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問のしかた</div> 1 右手をあげて聞く。 2 誰に何をと質問の焦点をはっきりする。 3 話しの呼応関係をはっきりさせる。 「～ですか。」 「～です。」 「～どう思いますか。」 「～と思います。」 「～しますか。」 「～します。」	○		○	○		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">話 し 合 い</div> 1 問題点、疑問点、共通点を明らかにするという目的からはずれないようにする。 2 整理すべきところ、補足すべきところを中心とする。 3 発表者どうしものを比較しながら話す。 ○○さんと、××さんのことから、私は……と思いますが、どうですか。 4 さらに高めるために話す。 ○○さんのいわれたことに、私は……をつけくわえたいと思います。 5 1対1の応答から、多対多の話し合いにする。				○	○	○